

MY HOME KOSHI

ほっとライン



特集

あなたの人生を未来へ

一人ひとりの人生を文字で紡ぐ、聞き書き講座



・今月の表紙・

誰にでも歩んできた「歴史」がある。合志市にお住まいの方のお話をお伺いし、本にまとめる「聞き書き」の活動が始まりました。どなたの話も興味深く、後世に伝えたいことばかり。あなたも人生の先輩のお話に耳を傾けてみませんか。



やさしくて 穏やかな 福祉社会の創造

2021

05

vol.178

「聞き書き本」
できました。



「生きていけばどうにかなる」 —長い旅、北へ北へ南へ南へ—

昭和8年生まれのお古澤さんは、3歳の時、父親の仕事の関係で旧満州に移り住まれます。異国の地での生活、そして、壮絶な引き揚げのお話です。

あらすじ

小学6年生のとき、旧満州を出発してから日本の土を踏むまでの、不安で苦しい11か月。どんなに苦しくても、お腹が空いても、それらから守ってくれる両親がいました。

お母さんはどんなに寒い朝でも、雪の中で薪を燃やし、お湯を沸かし、少しばかりの材料で食事を作り食べさせてくれました。周りでも幼い子どもが次々と死んでいき、一つの丘が日本人の屍で埋まったと聞いていました。

お母さんがよく言っていた「日本に帰りさえすればどうにかなるからね、みんな頑張るね。」の声を力に、一家5人が一緒に日本の土を踏みました。

保健福祉センター
ふれあい館で
読むことができます

次ページにインタビューもあります

「聞き書き講座」 を開催

「聞き書き」を地域のみなさんで行うために、令和2年11月12日から26日にかけて、県内の市町村で聞き書きを実践されている熊本保健科学大学教授の竹熊千晶さんを講師に「聞き書き講座」を開催しました。

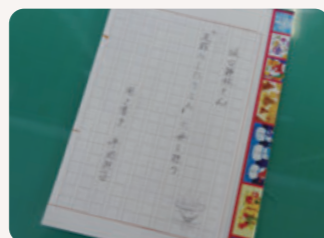


完成した聞き書き本を手に



「人に寄り添って話を聞く」「語り手が語りたくないこと・伝えておきたいことを聞く」「それをその人の話し言葉で書く」という基本的な練習を行いました。

会話をひとり語りにする練習



その後参加者二人一組で7分間、お互い相手の話を聞きメモを取り、その人の話し言葉で書いて世界に一つの本を完成させ、達成感を味わいました。

作成した聞き書き本



話をするうち、マスク越しにも和やかな雰囲気



「聞き書き講座」受講生を対象に、フォローアップ講座を開催。古澤佳美さんを語り手に満州からの引揚げのお話しをお伺いし、聞き書き本を作成しました。

実体験に耳を傾けました

この紙芝居は「えっちゃんのせんそう」(岸川悦子原作)をもとに、語り手・古澤さんが作成されたものです。この紙芝居を使って、ご夫婦で平和教育に取り組んでおられました。



「聞き書き」 とは

どんな活動？

語り手のこれまでの人生の物語を「聞いて」、その人らしさを大切にするために、語り手が話されたそのままの言葉で「書いて」、一冊の本に仕上げるといったボランティア活動です。

何のためにするの？

聞き手の方は…

- 地域の歴史や人生経験を未来に残すことができます。
- 先人たちの苦労や知恵を学ぶことができます。

話し手の方は…

- 前向きに生きる意欲も高まります。
- 語り手である高齢者の忘れていた記憶が蘇り、脳が動き出し、元気になります。
- 聞き手が学ぼうとする姿勢から「まだ必要とされている」実感を得て、生きがいを持つことができます。

あなたの人生を未来へ

一人ひとりの人生を文字で紡ぐ、聞き書き講座
合志市に住む一人ひとりに、貴重な経験や知識があります。それらをお伺いし、未来に残していくことは、私たち共有の財産になるとともに、お話しされた方のこれまでの人生を肯定し、これからの人生の生きがいにつながります。地域のみなさんと取り組む「聞き書き」がもたらす効果と実際の活動をご紹介します。



ありがとうございました

次の方々から社会福祉協議会にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。[2/16~3/15受付分]

寄贈

東洋羽毛九州販売株式会社様
(アレルキャッチャーマスク、ムートン座布団)
新開/加藤ひろみ様 (ポータブル吸引器、衛生材料等)

一般寄付

東京エレクトロン九州株式会社及び従業員一同様
すずかけ台/NPO法人ぽっかぽかすずかけ様
男の出前キッチン、かせするモン、様
飯高山お地蔵様守る会様

西須屋団地/津田順子様 (故夫省三様)
大池/二之形宗男様 (故妻智登勢様)
原口/後藤智恵子様 (故夫可登士様)
群/平山京子様 (故夫幸男様)
平島/坂本勝子様 (故夫勝博様)
上須屋/上田キヌヨ様 (故母宮崎チヨ子様)
上生/松本恵美子様 (故義母幸子様)
城/上村竜美様 (故父秀之様)
大池/永野一也様 (故母フサ子様)
横町/右田アツ子様 (故夫清治様)
二子/大塚久美子様 (故義父惟基様)
出分/緒田義房様 (故母末子様)
下町/宮崎成子様 (故夫定一郎様)
上須屋/本田尚雄様 (故母鈴子様)
泉ヶ丘/宮崎恵美子様 (故夫英臣様)

香典返し

※この他に寄付(香典返し)1件、寄贈1件ありました

ボランティアセンターからのお知らせ

*ボランティア活動保険のご案内

ボランティアセンターでは、安心して活動していただけるように、ボランティア活動保険の加入手続きを行っています(令和2年度加入者も、年度更新のため再度加入手続きが必要です)。災害発生時に被災地で災害ボランティア活動を行う方は、活動の前日までにボランティア保険の加入をお願いします。

※本年度より、特定感染症(新型コロナウイルス感染症等)も補償の対象となります。

*リーフレットできました!!

合志市ボランティア連絡協議会では、合志市のボランティア活動をより活性化させたいと考え、新しいボランティアの仲間と繋がるためのリーフレットを作成しました。公共施設・ふれあい館、福祉施設等に置いていきますので、ぜひ手に取ってみてください。

そして、みんなが笑顔になる素敵な活動を一緒にやってみませんか? コロナ禍だからこそみんなと繋がりたい!!

お問合せ **ボランティアセンター ☎ 242-7007**

参加者インタビュー 「聞き書き」 に取り組んで

勿忘草(わすれなぐさ):
花言葉は「私を忘れないで」



語り手
古澤 佳美 さん
(永江団地在住)

自分の記憶がはっきりしているうちに伝えなければと思いながらも、なかなかお伝えする場がありませんでした。今回、思いがけなくこのような機会をいただきありがたかったです。

少女時代の一番辛かった、きつかった経験は忘れることができませんが、その経験があったからこそ、今私の糧となり、こ

れまで水害や地震などに遭っても生き抜く力が養われました。

自分たちが経験した苦しい思いは、孫やひ孫達には経験させたくない。こういう事が二度とないように、世界中が平和であってほしいと切に願います。



聞き手
今城 美聡 さん
(大学生)

ボランティア活動紹介のなかで「聞き書き」のを知り、「生き方を残す」という言葉に興味を持ち受講しました。

実際に古澤さんからお話を伺う中で、学校で学ぶだけでは気づかなかったことが多くありました。特に印象に残っているのは、満州から引き揚げる際、お母さんから何度も「日本に帰ったらどうにかなるからね」と声をかけられていたとい

う話です。お母さんも不安な中で子ども達と自分自身を鼓舞するために、懸命だったことがひしひしと伝わってきました。

お話を聞くことで戦争を乗り越え今の平和な日本をかたちづけてくれた方々に感謝と敬意の気持ちを持つようになり、次は私たちがつなげていかなければならないと強く感じました。



講師
竹熊 千晶 さん
(熊本保健科学大学
地域包括連携医療
教育研究センター
教授)

「聞き書き」は、ただ単に聞いて書くという行為だけでなく、『語り手』と『聞き手』そしてそれを読む『読み手』が、何だかあたたかくゆるやかに繋がっていく活動です。

古澤さんが語られる満州からの引揚げの話は、衝撃的でした。想像を絶する環境の中で日本の土を踏むことができたという語りを聞き、参加したメンバーは「何かあっても、苦しいことがあっても負

けないで、自分の力でやり通す」というメッセージを受け取ったような気がします。その思いを伝えられるような作品にしています。

人とのふれあいが制限される今だからこそ、合志市の中でこれから少しずつ「聞き書き」が広まって、ゆるやかなつながりのある暮らしやすい地域になればいいなと思います。

聞き書き活動に興味を持たれた方は
こちらまでお気軽におたずねください **地域福祉課 ☎ 242-7007**

最新情報は、
社協ホームページで
チェック♪



※対象・定員等条件がある場合があります。くわしくはQRコードからホームページ、またはお電話でご確認ください

ふたごちゃんのつどい にこにこツインズ

双子や多胎児を持つ親と子どもの集いを奇数月に開催しています。仲間と集い、情報交換やおしゃべりをゆっくりと楽しみませんか。

- 🕒 5/10(月) 10:30～12:00
- 👤 双子、多胎児を持つ親と子ども
- 📍 ふれあい館
- 🆓 無料
- ※ 妊娠中の方、保護者のみの参加可
- 📞 こども支援センター ☎242-7008



こいのぼりにちなんだ企画です♪ ありがとうカフェ

認知症の人とその家族だけではなく、地域の住民、介護や医療の専門職など誰もが参加でき、気軽に交流を深められる居場所づくりを目指しています。つながりを作るきっかけができる場所として、毎月開催しています♪

- 🕒 5/6(木) 14:00～15:30
- 👤 どなたでも
- 📍 ふれあい館
- 🆓 100円(飲み物・菓子代)
- ※ 要申込
- 📞 地域福祉課 ☎242-7007



親子で遊べる おもちゃ図書館

好きなおもちゃで自由に遊んだり、絵本をゆっくり読んだりできる場所です。親子で楽しい時間を過ごしませんか♪

- 🕒 5/24(月) 10:30～12:00
- 👤 就園前の親子
- 📍 南ヶ丘福祉支援センターひかり
- 🆓 無料
- ※ 要申込
- 📞 こども支援センター ☎242-7008



皆さまのご協力をお願いします 日赤会員(会費) 募集

5月は「赤十字運動月間」です。日本赤十字社の活動は、国内外の災害救護活動、ボランティアの方々等に対する災害に備えた訓練・指導など、多くの活動を行っています。市民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

- 🕒 令和3年4月8日～ 随時受付
- 📍 ふれあい館及びヴィーブル
- 📞 地域福祉課 ☎242-7007



QRコードの使い方

「みみよりひろば」(今号P6～7)の各記事の「QRコード」(右下の四角い模様)をスマートフォンで読み取ると合志市社協のホームページでさらに詳しい情報を見ることが出来ます。



- iPhone** 「カメラ」を起動してQRコードにかざしてください。
- Android** QRコードアプリをインストールしてアプリを起動→QRコードにカメラをかざしてください。

さまざまな動画を配信中! 合志市社協YouTube

社協で実施しているさまざまな事業や活動、またご自宅でできる簡単な運動の動画を分かりやすくご紹介しています。ぜひ覗いてみてください!



📞 社会福祉協議会 ☎242-7000



困ったときのために 冷蔵庫に貼っておこう!

社協相談カレンダー



5月 2021年(令和3年)						
日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 育 南ヶ丘	11 ス 弁・行・民 栄	12 ふ 行・ぼ 南ヶ丘	13	14	15
16	17 育 南ヶ丘	18	19 ふ ぼ 南ヶ丘	20 ス 弁・行・民 御代志	21 専 成年後見 司 御代志	22
23	24 育 南ヶ丘	25	26 ふ ぼ 南ヶ丘	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

ス 法律・行政・心配ごと相談「スカっと」
市民のみなさんの悩みや心配ごとに、専門の相談員が対応します。10:00～12:00/13:00～15:00
当日受付(受付時間9:30～11:30/13:00～14:30)

ふ ふら～っとホーム太陽
日常生活のお困りごとに、ぽっかぽかサポーター・行政書士が対応します。10:00～12:00
行政書士相談日のみ予約制 ☎242-7007

専 専門相談事業(5月は成年後見)
地域の身近な相談窓口として専門相談を開設しています。10:00～12:00(1組30分)
予約制 ☎242-7007

育 健康育児相談
健康や育児に関するごとに、病児保育室の看護師が対応します。10:00～11:20(1組20分)
予約制 ☎242-7008

凡例 弁=弁護士 司=司法書士 社=社会保険労務士 行=行政書士 行相=行政相談員 民=民生児童委員
ぽ=ぽっかぽかサポーター 御代志=御代志市民センター 泉ヶ丘=泉ヶ丘市民センター 南ヶ丘=南ヶ丘福祉センター 輝き館ひかり 栄=栄市民センター みどり館 ふれあい=合志市保健福祉センター ふれあい館

社協の相談窓口【開設時間】平日8:30～17:30

相談内容	相談拠点	電話番号	所在地
福祉全般・ボランティアのこと	ふれあい館	242-7000	合志市須屋2251-1 「ふれあい館」
高齢者・認知症のこと	合志市地域包括支援センター サブセンターふれあい館		
子ども・子育てのこと	こども支援センター		
障がいのこと	障がい者支援センター	242-2271	合志市須屋2540 「れんがの家」
くらしのこと	生活支援相談センター	248-1100	合志市福原2922 「ヴィーブル内」

- 対象 親子 高齢者 一般の方 障がい者 子ども どなたでも
- 内容 相談 お知らせ イベント 募集 ボランティア

公開講座

子どもの身体の 発育と病気



【講師プロフィール】

- 熊本再春医療センター 小児科医
- 認定NPO法人NEXTEP理事長

日時 令和3年6月6日(日)
9:30~12:00

場所 ふれあい館 交流ホール

対象 子育てに興味・関心のある方 どなたでも
※託児についてはお問い合わせください

定員 20名

受付 随時受付中

講師 島津智之氏

※状況により、日程が変更になる場合があります

お問合せ
申込み先

合志市社会福祉協議会こども支援センター
☎ 242-7008



毎号、ほっとラインの内容にちなんだクイズを出題いたします。
正解の方のうち1名の方に、**図書カード1,000円分**をプレゼントいたします。
ぜひ奮ってご参加ください！

★今月のクイズ★

「聞き書き講座」で語り手となってくださった古澤佳美さんが、幼少時を過ごした場所はどこでしょうか。

- ① 朝鮮 ② 台湾 ③ 満州

【ヒント】2~4ページの特集を読んでみましょう

4月号のクイズの答えは
「②モグラ」でした！

芋あんだご汁、こちらに来てからお母さんから教えていただきました。時々お母さんお父さんに作って食べてもらっています。今、2人の介護をしています。ほっとライン楽しみにみております。運動さっそく実行してみます。ありがとうございます。

(ペンネーム：ニャン子様)



応募方法

住所・氏名・電話番号・年齢・ペンネームをご記入ください。

※頂いたメッセージは「ほっとライン」や社協イベント等でご紹介させていただきます。

※個人情報は厳重に管理し、プレゼント発送のみに使用致します。

※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

応募先

〒861-1102 熊本県合志市須屋2251-1
合志市社会福祉協議会

「ほっとライン」係 ※5月27日(木) 必着

メールでも
応募できます！



社協への
メッセージも
頂けると
嬉しいです！



お問合せ 社会福祉法人 合志市社会福祉協議会 ☎242-7000(代)

- ふれあい館 ☎242-7000
- ヴィーブル生活支援相談センター ☎248-1100
- このみ坂保育園 ☎247-6630
- 南ヶ丘福祉支援センター 輝き館ひかり ☎288-2240
- 障がい者支援センター れんがの家 ☎242-2271